みわを元気に

三和地域協議会ニュース　第４３号　令和４年５月１９日発行

三和地域の人口・世帯数
男　1,491人
女　1,548人
合　計　3,039人
世帯数　1,623世帯
（令和4年4月末 現在）

発行：三和地域協議会

第９回総会を開催しました

４月16日、三和地域協議会の第９回総会を三和荘で開催しました。代議員総数65名のうち50名が出席（別で委任状11通）いただき、令和３年度の事業報告・決算、および令和４年度の事業計画・予算案が承認されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代議員のみなさんにも感染対策にご協力をいただきながらの開催となりました。

新たな事業として、新型コロナウイルス感染症に罹患したり、濃厚接触者になって外出できない方のための買い物サポートを行う「新型コロナウイルス対策・お買い物サポート事業」を３月から先行して開始しています。また、安心・安全なまちづくりを目指す取り組みとして、救命講習を開催予定です。

今年度も、三和地域協議会の活動への積極的なご参加、ご支援をよろしくお願いします。

（事業計画は裏面に掲載）

会長あいさつ

三和荘のレストラン運営と宿泊業務を行う業者が決定

株式会社ファーストシステム

三和荘のレストラン運営と宿泊業務を行う事業者が、公募型プロポーザルにより決まりました。

【事業者名】
株式会社ファーストシステム
（福知山市三和町芦渕３４７）

【期間】
レストランの運営
令和６年４月（予定）～令和13年３月31日
宿泊業務の委託
令和６年４月（予定）～令和13年３月31日

※令和４年４月から令和６年３月31日（予定）までは準備期間

三和荘改修工事後、レストラン運営と宿泊業務を行う予定です。

株式会社ファーストシステムは、㈱ファーストライン、㈱ファーストグループの１社で、ファーストグループにはこれまで、結婚式場経営などの実績があります。

また、三和町芦渕に本社があり、グループ企業の㈱ファーストライン化成品工業などのファーストネックス京都三和に開設されました。

令和３年10月に物流センターをアクス京都三和に開設されました。

公募型プロポーザルでは、三和町に会社があり地域貢献を考えている会社が、地域の方に喜んでいただけること、継続した事業展開を行うこと等を提案されていました。

株式会社ファーストシステムの参入により、三和荘の地域交流拠点としてのさらなる発展・存続に繋がっていくことが期待されます。

現在、三和荘でご使用いただける施設

◎運動広場（グラウンド）　◎テニスコート４面
◎ペタンクコート　◎アーチェリー場　◎体育館
◎多目的ホール（三和荘内）　◎会議室（三和荘内）
◎川合運動広場、多目的運動コート

三和荘及び関連施設案内図

三和地域公民館
三和荘に事務所移転しました

４月１日から、三和地域公民館の事務所が三和荘内（寺尾）に移転しました。

三和会館（千束）も従来通りご利用頂けますが、使用の申請については、三和荘内の公民館事務所で手続きをお願いします。公民館講座は、三和荘や三和会館、農業振興センターなど、講座の内容によって会場が変わりますので、お間違えのないようにお願いします。

ご不明な点は、電話５８－３３３４までお問い合わせください。電話番号は変更ありません。

三和荘のご使用について
令和４年４月１日からの変更点

◆１時間ごとの料金設定が追加され使用しやすくなりました。
◆三和地域の団体の方がより使用しやすい料金設定となりました。
◆準備や片付けは使用者の方で行っていただき、ゴミは持ち帰ってください。
◆詳しくは三和荘まで、お問合せください。

地域交流の拠点施設　三和荘　＜電話＞0773-58-2310

図書館からのおしらせ

『ビブリオマンシー（書物占い）～本との出会いでヒントが見つかる？～』

図書館三和分館で「ビブリオマンシー（書物占い）～本との出会いでヒントが見つかる？～」の展示をしています。

ビブリオマンシーとは、本を使った占いのことで、世界的に広く行われているものです。

「ビブリオマンシー」の方法
①心を落ち着かせ両手で本を持ちます。
②知りたいこと、聞きたいことを頭に思い浮かべます。
③パッと自然に本を開きます。
④そこにこたえ、ヒントが書いてあるかもしれません。

いろいろな本（名言集・哲学書・詩集・小説など）から、あなただけのヒントをもらいましょう。

さぁ、深呼吸して、本を手に取り、風にきくように本を開いてみてください。

令和４年度事業計画（抜粋）

全体事業

新たに「新型コロナウイルス対策・お買い物サポート事業」、その他防災や救命に関わる活動に取り組んでいきたいと思います。

三和地域公共交通空白地有償運送事業（みわ ひまわり ライド）

運行６年目を迎えます。課題である高齢者等へのＰＲ・周知については、民生児童委員の皆さんとの情報共有等連携した取組みを継続して行います。現状の利用者数や運行便数の安定した維持に必要な、事務所機能の維持・地域住民の理解と協力・行政の適切な支援が継続できるよう地域及び行政機関に働きかけていきます。

さらに利用会員の利便を図るため、「敬老乗車券」の適用など利用しやすい環境整備や市のモデル実証事業の早期検証による補助事業の制度化などについて市への要望を継続していきます。

三和地域暮らしサポート事業（みわ ひまわり サポート）

事業は昨年７月にスタートしましたが、実施する中で様々な課題も見えてきました。さらに充実し、存続・発展するよう生活基盤部会で検討を加えていきます。

また、草刈の範囲・面積など、利用者の要望にどこまで応えるか、安全面からのアプローチも必要と考えます。

福知山公立大学連携事業

本年度も福知山公立大学がすすめる「地域密着型授業」として１回生が、１年間三和をフィールドに学習します。この取り組みを地域の元気に結びつけられるよう、住民の皆さんのご協力をお願いします。

空き家対策・定住促進事業

引き続き、空き家と移住希望者のマッチングと移住後のフォローや移住相談・空き家の内覧・調整、上川合おためし住宅に関することなど、市と連携していくとともに、自治会長をはじめ地域の方たちにもご協力いただきながら取り組んでいきます。

移住者交流会については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら開催したいと思います。

令和４年度設置常設部会

地域活力部会

○こどもウォークラリー…５月に開催予定です。
○みわふれあいカフェ…４月から再開しています。
○ゆずります会…ふれあいカフェと同時開催します。学用品も扱います。
○三和音頭の普及…イベント参加等を行います。
○講演会等の開催…秋に演劇鑑賞会を予定しています。
○ラジオ番組での広報活動…継続して実施します。

生活基盤部会

暮らしサポート事業の新しい取り組みとして、「新型コロナウイルス対策・お買い物サポート事業」を始めます。感染防止の面から家庭内での待機を余儀なくされた家族の生活の不自由さを少しでも解消するため、日用必需品など緊急を要するものに限り、買い物を代行します。

暮らしサポート事業は、地域の、特に高齢者の生活に貢献し、利用者と協力会員が、この事業を通じ互いに喜びを共感できるよう、さらに努めますので皆さんのご協力をよろしくお願いします。

交流・連携部会

前年度中止した「三和フォトコンテスト」を、本年度に改めて募集します。早めに募集を開始し、小中学生に対する広報も行い、多くの作品応募があるように取り組みたいと考えます。既応募作品については本年度に含めて審査します。

また、地域との連携をさらに深める活動を考えていきます。

地域住民活動支援事業

（１）三和診療所再開に向けての住民要望について

休診中の三和診療所については、令和４年３月の自治会長会にて福知山市より、松本病院と令和４年４月から３年契約で更新を行うが、コロナウイルス感染症拡大の影響によって再開時期は未定との説明がありました。協議会としては、自治会長会など関係機関と連携を取りながら、早期再開にむけて働きかけていきたいと思います。

（２）三和地域福祉推進協議会事業について

継続して、研修会や講演会、子どもや高齢者の見守り等の活動を計画し、地域で生活する上での様々な課題に住民自らが関心を持ち、地域づくりに主体的に関わっていくための〝きっかけ〟となるよう各団体で構成する「代表者会」で協議のうえ実施します。特に、コロナ禍の影響により昨年度から中止、延期した取組みについては早期実施を目指します。

（３）旧細見小学校活用推進委員会について

旧細見小学校の活用事業者が決定し、福知山市及び活用事業者からの情報提供や相談に対する住民窓口となるために作られた「旧細見小学校活用推進委員会」の事務局を担うことになりました。旧細見小学校活用事業者・住民からの相談受付、委員会開催の案内などを行っていきます。

ラジオは…協議会の活動について

ＦＭ丹波で月～金曜午後４時から放送中の番組「七色バラエティワイド」内で隔月１回三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー。

第27回が４月20日に放送されました。

今回は、三和地域協議会の今年度の活動を中心にお話しました。

メンバーは、いつもの松下正美会長と水谷直美さん、そして副会長兼地域活力部会長の藤田まどかさんと、事務局長の樋口正明さんです。

上のＱＲコードを携帯電話やスマートフォン・タブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞きいただけます。（通信料がかかります）

なんだか珍しく（!?）真面目な回のような…協議会の活動に、少しでも興味を持っていただけると嬉しいです！

今回のメンバー

みわひまわりライド

累　計 （平成29年10月 ～ 令和4年4月）	
会員 登録者数	158人 （男性36人・女性122人）
利用者数	117人 （男性28人・女性89人）
運行便数	2,827便
輸送人数	3,200人

みわひまわりライド・サポートの利用状況をお知らせします！

みわひまわりサポート

累　計 （令和3年7月 ～ 令和4年4月）	
ユーザー 登録者数	23人（男性6人・女性17人）
利用者数	11人（男性4人・女性7人）
利用件数	37件（ゴミ出し・分別・草引き等）

三和町文化協会機関誌「文化」第52号を発行

～みわ美展の作品紹介や交流広場の新設～

暮らしをおびやかすコロナ禍が長期化しています。そんな中で、自分たちの生活を見つめ、思いを伝える、三和町文化協会の機関誌「文化」が今年も発行できました。

発行された「文化」52号

お忙しい中、原稿を寄せていただいた多くの協会関係の仲間の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

ほぼ年に一回のペースで発刊している「文化」誌も、号数を重ね今回で52号になりました。

昨秋、三和荘で開催された三和町在住の芸術愛好家たちによる「みわ美展」の作品紹介や、長引くコロナ禍で影響を受ける暮らし・文化活動への思いを記した詩歌や随想集など掲載。また、「昔を歩く」や「旅の文化を後世に―道標の復元―」「鹿倉山太平寺のこと」など、地域の昔を知る歴史的な読み物もあり、興趣を引くことと思います。

協会内外の人たちによる幅広い触れ合いの場にと、新しく「交流広場」の欄を設けました。三和学園の子供たちと地域をつなぐ創造学習のレポートや、協会員らの活動ぶりなどが載っています。

後藤一郎さんの絵画「爽籟」（みわ美展出展作品）

心に響く短歌や俳句、現代詩などは、通常通り紙面を飾っていますので、お楽しみください。

52号は、三和地域協議会や市役所三和支所、三和地域公民館（三和荘）などに置いていますので、ぜひご一読を。お問い合わせは、後藤０９０（５８９３）６０３５まで。少しなら提供できます。

「文化」誌の発行を含め、三和町文化協会では今後とも、地域文化の振興・発展に寄与すべく努めますので、協会への皆様の一層のご支援、ご協力をお願いします。

なお、「文化」誌各号の発刊に際しては、三和荘を運営されてきた住民団体「ＮＰＯ法人丹波・みわ」様から、物心両面で多大なご支援を賜りました。三和荘の運営が今年度から市直営となり、同法人は解散されますが、ここに、長年の援助に対し、心から感謝を申し上げます。

（三和町文化協会会長　後藤定司）